



日越学生交流会の様子（筆者は後列一番左）

ベトナムの希望の灯り

〈東南アジア文化・専門集中講座〉

ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学

明治大学政治経済学部経済学科2年

坂上悠樹

私は東南アジア文化・専門集中講座で、ベトナム南部のホーチミン市にあるベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学に23日間留学しました。大学での授業は、ベトナムに関連する文化・社会・経済とベトナム語の4つの分野について、すべて英語で聴講するというものでしたので、TOEICやTOEFLのリスニングやライティングなどの求められている英語力の向上にとっても役立ちました。さらに、授業後や休日にはベトナムの大学生と公共交通機関を利用して北部や中部などへ観光に出かけたり、文化・社会・経済の講義に関連して開催されたホーチミン市内のスタディーツアーなど、「ベトナム」という異文化に触れる機会にもとても恵まれました。

ところで、皆さんはホーチミン市の夜景をご存知でしょうか。普段皆さんが想像する夜景は、東京や大阪のように高層ビルやその周りの家の灯りによるものではないでしょうか。しかし、ホーチミン市の夜景は少し違います。それはビルや家の灯りではなく、車のヘッドライトや街灯によって作り出されているものなのです。そのため、皆さんが想像する夜景は止まって見えるのに対して、ホーチミン市の夜景は無数の光が川の流れのように動き続けているのです。つまり、この「動く夜景」とは、将来ベトナムが発展していくことの象徴であり、その成長過程での言わば「ベトナムの希望の灯り」と呼ぶことができるのではないかと考えます。



ホーチミン市の夜景

このようにベトナムは世界を驚かせるような勢いで急激に発展しています。それはおそらく、近年日本を始めとした世界中の企業が投資を行うようになってきたからだと思います。しかしそれに伴い、インフラや法律の整備から、教育問題などの新たな問題が浮上し始めているということも事実です。そこで今後は、日本や世界の国々が経済発展の過程で示した優れた点を、ベトナムに応用できないかということを探求していきたいと考えています。

MEIJI UNIVERSITY

参考 URL: [2016 年度東南アジア文化・専門集中講座](#)